

校長室だより

共学共高

第
9
号

令和3年8月16日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

未来の白梅生たちへ part2

中学生とその保護者を対象とした夏季休業日中の学校見学会の様子をお伝えしたい。コロナ禍での開催となるため、参加人数を限定して募集したので、申し込み開始から3日ほどで満員となってしまった。御希望にお応えできなかった皆様にはお詫び申し上げます。

7月31日(土)及び8月1日(日)にそれぞれ4回、学校見学会を開催した。校舎の入り口で手指消毒と検温に御協力いただき、多目的ホール内の指定された座席へ御案内する。ホール正面には、学校紹介ビデオが流れ、入学式から卒業式までの主な教育活動の様子を伺い知ることができる。どの回も定刻で開始される。ここは極めて肝心である。参加者が定刻までに揃わなかったり、学校側が準備に手間取り開始時間が遅れたりすることは珍しいことではない。しかし、きちんと定刻に開始されることは学校としての姿勢が表れているものとする。私にとって、白梅における初めての学校見学会であるが、まずはこの点をお伝えしたい。

司会の教員から、資料の確認や本日の流れについて紹介があり、校長挨拶、募集対策部の教員による学校概要説明と続く。配布された学校案内の表紙には、[]×Design Only your 3years と記されている。この[]に何を入れるかは、生徒次第だ。どういう3年間を過ごしたいのか、それをデザインすることが求められている。説明にあたる担当教員は、建学精神に始まり、この[]の中に、学び、キャリア、ライフを入れて、本校の教育内容をプレゼンする。具体的には、3つのコース制、ICT環境、ハイブリッド型授業、進路状況、学校行事、部活動、入試等についてお伝えする。

中学生の集中力は高く、聞く姿勢もよい。約30分で説明が終わり、校内見学を担当する教員が中学生とその保護者のもとへ行き、1対2で御案内をする。コロナ禍でないときは、在校生が担っていた案内であるが、昨年からの形式となっている。先生たちは大変だが、中学生と保護者には好評である。

【参加した中学生・保護者の声から】

- ・ 1組に1名の先生がついて案内してくれるので、説明が丁寧である。聞きたいことをすべて質問することができたので満足である。
- ・ 案内してくださった先生との何気ない会話の中から、穏やかな校風を感じることができ、好印象を抱いて帰りました。

- ・ 先生方皆さん丁寧で本当に熱心で、いろいろ他の学校も見て回りましたが、白梅学園より良い学校にまだ出会えません。
- ・ 素晴らしい校舎や設備はもちろん、案内していただいた先生の丁寧さと温かさに感動しました。こんな風に手厚くしていただける学校は初めてでした。このような学校にぜひ子どもを入学させたいと心から思い、受験を頑張っしてほしいと思いました。
- ・ パンフレットではわからないこと、各コースの違い、学校の教育方針がとてもわかりやすく伝わりました。
- ・ 生徒さんが元気よく、とても礼儀正しかったです。

以下に校長挨拶の内容を示させていただきます。持ち時間 3 分はきちんと守らせていただいたことを御報告したい。(我が家では、3 人の子供たちが中高生の頃、「(自校の) 校長先生の講話が長くて大変だった、お父さんはできるだけ話が長くないように生徒たちに話して!」と言われ続けてきたので、心得たものである。)

【未来の白梅生たちへ】

私からは本校の目指すところをお話しさせていただきます。まずは、みなさんが社会へ出たときに自らの能力を発揮して、社会貢献できる女性へと育てていただくことを見据えています。そのことを前提に、生徒同士あるいは生徒と教職員との人間的な触れ合いの中で、「学力」と「人間力」を高めていく学校を目指しております。

そのために白梅での 3 年間の教育活動で大切にしていることが 2 つあります。

一つは、さまざまな教科・科目の学習を通して、「教養の土台」を身に付けていただくということです。本校では大学入試に関する科目だけを学んでいくという方法とはっていません。3 年生になっても時間割はびっしりと埋まっています。しっかりと学校の授業の中で必要な力を身に付けていただきます。幅広い教養の土台を身に付けた人が、大学以降の上級学校で高い専門性を積み重ねていき、やがて社会へ出て、新しい知や価値を生みだしていく存在になると考えています。

もう一つは、学校行事や部活動などを通して、「豊かな人間性」を培っていただくということです。本校には、体育祭、合唱コンクール、白梅祭といった大きな学校行事があり、生徒たちは真摯に取り組んでいます。また、多くの生徒たちが部活動にも所属して自分の活躍の場を得ています。

学習との両立は容易なことではありませんが、バランスをとって、高い目標に向かって、お互いに切磋琢磨していく、その中で他を思いやる気持ちや、最後まであきらめない姿勢を身に付けていくのです。みなさんが社会へ出たときには、おそらくチームで仕事をしていくことになります。メンバー一人一人の良さを引き出して、それらをつないで成果を上げていくことが求められるでしょう。そのときに、共に協働できる豊かな人間性を備えていることが大切だと考えています。

この後の説明や校内の様子などを御覧になって、学校選びの一助としていただければ幸いです。御縁がございまして、入学式でお会いすることができれば嬉しく思います。



(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)